

第1章 豊岡市の概況

第1節 豊岡市の概要

平成17年4月1日に兵庫県北部の豊岡市（旧）・城崎町・竹野町・日高町・出石町・但東町の1市5町が合併して、豊岡市が誕生した。

海岸部は山陰海岸国立公園、山岳部は氷ノ山後山那岐山国定公園に指定され、多彩な四季を織りなす自然環境に恵まれている。

産業は農林水産業、観光業が盛んで、歴史のある温泉街や城下町を有し、多くの観光客で賑わっている。また、海水浴場やスキー場が市内に存在し、年間を通してアウトドアスポーツが楽しめる。

本市は、特別天然記念物コウノトリの生息地としても知られており、平成17年9月24日には、野生復帰計画の第一歩として飼育下で成長したコウノトリの自然放鳥が行われ、平成24年現在、野外に50羽以上のコウノトリが生息するに至った。

コウノトリは、本市の環境施策のシンボルとして位置づけられており、「コウノトリ悠然と舞うふるさと」の実現に向けたまちづくりを進めている。

第2節 自然環境

1. 地理、地形

本市は、兵庫県但馬地方の北東部に位置し、北は日本海、東は京都府（京丹後市、福知山市）、南は兵庫県養父市、朝来市、西は兵庫県香美町とそれぞれ境を接している。

本市の面積は697.66km²、市域の大部分が山林で占められ、中央部には母なる川「円山川」が流れている。

本市の位置を図1-1に示す。

図1-1 豊岡市の位置



2. 気候

本市の気候は日本海型気候に属し、多雨・多湿で一年を通じて寒暖の差が比較的大きい。冬期は北西の季節風が日本海から吹き、降雨や降雪の日が多くなる傾向がある。

豊岡特別地域気象観測所の過去6年間の気象データを表1-1に示す。

表 1-1 気象データ（豊岡特別地域気象観測所）

項目 年月	気温（℃）					平均湿度 （%）	降水量 （mm）
	平均			極			
	平均	最高	最低	最高	最低		
H17	14.5	19.9	10.4	37.2	-5.9	78	2,113.5
H18	14.5	19.7	10.6	36.8	-6.3	78	2,083.5
H19	15.0	20.6	10.8	38.6	-4.2	76	1,850.0
H20	14.6	20.1	10.6	38.4	-2.3	77	2,020.5
H21	14.6	20.0	10.5	36.3	-5.2	77	2,135.5
H22	15.2	20.4	11.1	38.0	-3.7	76	1,922.5
1月	3.5	8.1	0.3	18.9	-3.7	81	185.0
2月	5.6	10.0	2.0	22.6	-2.7	79	153.0
3月	7.6	12.1	3.5	24.3	-0.6	75	187.0
4月	11.3	16.7	6.5	25.9	-1.0	70	156.5
5月	16.7	22.6	11.7	31.4	5.8	71	147.0
6月	22.1	27.9	18.0	34.0	12.7	76	139.5
7月	26.6	31.9	23.0	36.6	20.8	78	193.5
8月	29.3	35.7	24.8	38.0	22.6	71	64.0
9月	24.5	30.0	20.4	37.9	13.8	75	182.0
10月	17.5	22.3	14.1	29.4	8.9	81	163.0
11月	10.4	16.4	6.0	22.9	0.8	79	127.0
12月	6.7	11.6	3.0	21.2	-0.7	75	225.0

資料：兵庫県統計書

第3節 社会環境

1. 人口動態・分布

(1) 人口及び世帯数の推移

行政区域内人口及び世帯数の推移を表 1-2 及び図 1-2 に示す。人口は、徐々に減少している。

一方、世帯数は緩やかな増加傾向を示し、1世帯当りの人員数は年々減少傾向にあることから、単身世帯の増加と核家族化が進んでいることがうかがえる。

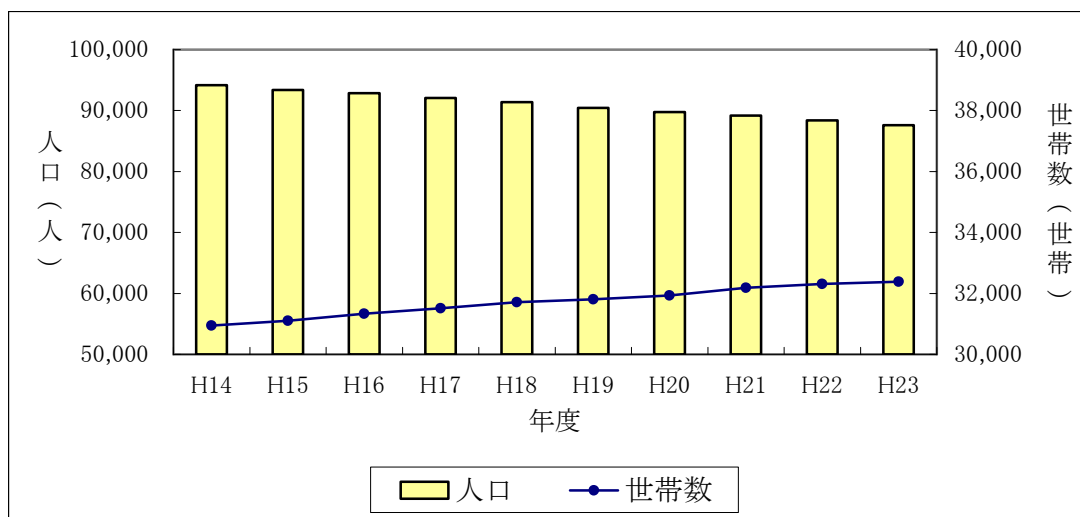
表 1-2 行政区域内人口及び世帯数の推移

区分 \ 年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
人口(人)	94,156	93,407	92,881	92,067	91,375	90,443	89,762	89,169	88,407	87,585
世帯数(世帯)	30,946	31,102	31,329	31,514	31,713	31,808	31,936	32,185	32,313	32,380
世帯人口(人/世帯当り)	3.04	3.00	2.96	2.92	2.88	2.84	2.81	2.77	2.74	2.70

注) 人口及び世帯数に外国人登録者数を含む年度末人口

資料：市民課

図 1-2 行政区域内人口及び世帯数の推移



(2) 年齢別人口

年齢別人口を表 1-3 に示す。

年齢別にみると、65歳以上の人口の占める割合が28.2%と多い、一方で15歳未満の割合は13.9%と少ない。また、男女別人口でみると15歳未満では男の方が多いが、65歳以上では女の方が多くなっている。

表 1-3 年齢別人口

(単位：人、%)

区分 性別	合計	15歳未満		15～64歳		65歳以上	
	人口	人口	割合	人口	割合	人口	割合
男	40,791	6,073	14.9	24,685	60.5	10,008	24.6
女	44,801	5,820	13.0	24,838	55.4	14,136	31.6
合計	85,592	11,893	13.9	49,523	57.9	24,144	28.2

※ 合計の欄は年齢不詳分も含んだ値のため合計は一致しない

資料：平成22年 国勢調査

(3) 人口動態

人口動態を表 1-4 に示す。

自然動態、社会動態とも人口減少の要因となっている。

自然動態は、平成21年度まで減少人口に大きな変動が見られなかったが、平成22年度は386人減少し、平成21年度と比べ116人多く、43%減少率が増大した。

社会動態は、平成21年度まで減少人口が縮小していたが、平成22年度は350人減少し、平成21年度と比べ54人多く、18%減少率が増大した。

表 1-4 人口動態

(単位：人)

区分 年度	純増減			自然動態						社会動態					
				増減		出生		死亡		増減		転入等		転出等	
	計	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
H19	-938	-517	-421	-167	-132	349	361	516	493	-350	-289	982	1,028	1,332	1,317
H20	-822	-454	-368	-167	-110	375	392	542	502	-287	-258	960	1,015	1,247	1,273
H21	-566	-329	-237	-153	-117	356	373	509	490	-176	-120	986	1,036	1,162	1,156
H22	-736	-316	-420	-179	-207	398	365	577	572	-137	-213	920	927	1,057	1,140

資料：兵庫県統計書

2. 産業の動向

(1) 産業構造

産業別就業者数を表 1-5 に示す。

第 1 次産業の割合が7.84%と最も少なく、第 3 次産業の割合が62.16%と最も多くなっている。

表 1-5 産業別就業者数（15 歳以上）

（単位：人、％）

合 計	第 1 次産業		第 2 次産業		第 3 次産業		分類不能の産業	
	就業者数	割合	就業者数	割合	就業者数	割合	就業者数	割合
45,190	3,544	7.84	13,485	29.84	28,088	62.16	73	0.16

資料：平成 22 年 兵庫県統計書

(2) 農業

主要農作物収穫量及び畜産飼養頭羽数を表 1-6 に示す。

主要農作物収穫量では米が最も多く、収穫量に大きな変動は見られない。

畜産では、ニワトリが最も多く、そのうち採卵鶏飼養羽数は、平成17年度の20万羽から平成22年度の12万羽まで減少した。逆にブロイラーは327万羽から489万羽に増加した。肉用牛飼養頭数は、近年大きな変動は見られないが、乳用牛の飼養頭数は、平成21年度、平成22年度と大きく減少している。繁殖豚の飼養頭数は平成20年度以降、大きな変動は見られない。

表 1-6 主要農作物収穫量及び畜産飼養頭羽数

(単位：t、頭、羽)

区分 年度	米	麦	豆類	いも類	野菜類	工芸 作物類	果樹類	花き類	肉用牛		乳用牛	繁殖豚	ニワトリ	
									繁殖牛	肥育牛			採卵鶏	ブロイラー
H17	16,100	17	78	445	6,831	—	551	—	437	1,207	726	70	203,443	3,270,500
H18	15,400	22	81	456	5,718	—	406	—	418	818	667	73	143,678	3,205,500
H19	15,300	39	81	481	6,769	—	*	—	679	794	624	68	143,356	4,493,800
H20	15,400	15	84	*	*	*	*	*	774	800	628	39	130,508	4,407,000
H21	14,200	47	107						839	820	559	36	122,803	4,196,800
H22	15,200	47	110						801	817	381	39	123,503	4,889,100

*：調査を欠いたとき、空欄：調査項目無

資料：農林水産課・兵庫県農林水産統計年報・但馬の農林水産業

(3) 林業

林野面積を表 1-7 に示す。

人工林の蓄積は「すぎ」が最も多く、次いで「ひのき」となっている。

表 1-7 林野面積

(単位：ha、千m³)

区分 年度	総計		民有林							
			計		立木地					
					人工林					
					すぎ		ひのき		まつ	
面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積	
H19	55,302	11,422	54,542	11,330	11,924	5,028	9,035	2,247	2,662	558
H20	55,296	11,616	54,536	11,515	11,939	5,119	9,071	2,318	2,650	573
H21	55,296	11,812	54,536	11,711	11,948	5,216	9,069	2,389	2,648	590
H22	55,296	11,999	54,536	11,898	11,948	5,310	9,069	2,460	2,648	606

区分 年度	民有林										国有林	
	立木地						竹林	無立木地		更新 困難地		
	人工林				天然林			伐採 跡地	未立 木地			
	その他針葉樹		広葉樹									
面積	蓄積	面積	蓄積	面積	蓄積	面積	面積	面積	面積	面積	蓄積	
H19	13	-	66	4	29,727	3,493	478	4	626	8	760	91
H20	13	-	66	5	29,682	3,501	478	6	624	8	760	101
H21	13	-	66	5	29,676	3,512	478	7	624	8	760	101
H22	13	-	66	5	29,674	3,521	478	8	624	8	760	101

蓄積：樹木の幹の体積

資料：兵庫県統計書

(4) 漁業

海面漁業経営体数を表 1-8 に示す。

平成20年度の経営体総数は、平成15年度と比べ4経営体増加している。

表 1-8 海面漁業経営体数（経営体階層別）

(単位：経営体)

区分 年度	総数	漁船 非使用	無動力 漁船 のみ	船外機 付漁船	動力漁船							大型 定着網	小型 定着網	地びき網	海面養殖	
					1 t 未満	1～3 t	3～5 t	5～10 t	10～30 t	30～100 t	100 t 以上				魚類	その他
H15	117	—	—		30	35	28	4	—	19	—	×	*	*	*	
H20	121	—	—	38	2	36	23	3	—	17	1	1	*	*	*	*

空欄：調査項目無、×：表示無、*：調査対象外

資料：兵庫県統計(漁業センサス)

(5) 製造業

製造業事業所数・従業者数・製造品出荷額等を表 1-9 に示す。

事業所数、従業者数、製造品出荷額等のいずれも平成19年度に対し平成20年度は増加したが、平成21年度はすべて減少となった。平成22年度は、事業所数は減少したが、従業者数、製造品出荷額等は増加した。

表 1-9 製造業事業所数・従業者数・製造品出荷額等

(単位：事業所、人、万円)

区分 年度	事業所数	従業者数	製造品出荷額等
H19	267	6,159	11,130,760
H20	277	6,173	12,097,692
H21	252	5,985	10,330,071
H22	245	6,244	10,742,857

資料：兵庫県統計書

(6) 商業

産業分類別卸売業・小売業事業所数・従業者数を表 1-10 に示す。
卸売業・小売業とも飲食料品業の事業所数、従業者数が最も多い。

表 1-10 産業分類別卸売業・小売業事業所数・従業者数

(単位：事業所、人)

産 業 分 類		事業所数	従業者数
卸 売 業	各種商品	—	—
	繊維・衣服等	59	473
	飲食料品	76	699
	建築材料, 鉱物・金属材料等	55	475
	機械器具	55	374
	その他	74	431
	小 計	319	2,452
小 売 業	各種商品	4	78
	織物・衣服・身の回り品	169	544
	飲食料品	406	2,686
	機械器具	206	1,117
	その他	479	2,322
	無店舗	14	43
	小 計	1,278	6,790
合 計		1,597	9,242

資料：兵庫県統計「平成21年経済センサス基礎調査結果表」

3. 土地利用状況

土地利用状況を表1-11に示す。

全体に占める割合は山林が最も多くなっている。

表 1-11 土地利用状況

(単位：㎡)

区分 年度	総面積 (knf)	田	畑	宅地	鉱泉地	池沼	山林	牧場・原野	雑種地	その他
H19	697.66	46,853,675	11,837,092	16,445,236	1,190	616,375	264,002,280	2,536,541	5,983,484	349,384,127
H20	697.66	46,505,692	11,792,131	16,548,656	1,229	630,800	261,572,109	2,508,816	6,127,905	351,972,662
H21	697.66	46,378,023	11,814,337	16,550,080	1,229	631,090	256,215,326	2,558,735	6,138,477	357,372,703
H22	697.66	46,223,993	11,787,148	16,614,763	1,229	666,052	252,202,926	2,496,620	6,263,572	361,403,696

(注) 1 総面積は、国土交通省国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」による。

2 地目別面積は固定資産課税台帳記載面積の積み上げのため、その合計は国土地理院による総面積とは必ずしも一致しない。

資料：兵庫県統計書

4. 本市の計画

(1) 環境基本計画（平成19年4月策定）

環境基本計画は、「豊岡市コウノトリと共に生きるまちづくりのための環境基本条例」に基づき策定した。この計画は人とコウノトリが共生できる良好な環境を保存、再生、創造し、その素晴らしい環境を広げ、次の世代に引き継いでいこうというもので、基本方針は次のとおりである。

- ① 自然・文化・歴史的資源の理解と保全
- ② 人と生きものがバランスよく共生するまちづくり
- ③ 資源の無駄遣いをなくす循環型のまちづくり
- ④ 環境意識を高める環境にやさしい人づくり
- ⑤ 環境行動を持続的にする取り組み
- ⑥ 地球環境の保全に貢献

(2) 豊岡市総合計画（後期基本計画：平成24年3月策定）

「いのちへの共感」の理念を豊岡のまちづくりの根幹に置き策定した。循環型のまちづくりとして、ごみの排出抑制や減量、再資源化また資源やエネルギーの節減・再利用などを進め、環境への負荷の軽減を推進する循環型社会の構築をめざす。基本施策は次のとおりである。

- ① 市民、事業者、来訪者及び行政がそれぞれの立場で環境問題を認識し、ごみの排出抑制、再利用、再生使用を推進する。
- ② ごみの再資源化のため、資源ごみの分別収集を徹底するとともに市内の各種団体による集団回収を支援する。
- ③ 分別収集された資源ごみの活用方法など、リサイクルの仕組みを積極的に広報する。
- ④ 豊岡清掃センターに搬入されるごみの検査を徹底する。
- ⑤ 北但ごみ処理施設は、北但1市2町が共同で平成28年度（2016年度）稼働を目指して整備する。